

知行合一による『人財』育成

人材育成委員会 委員長
小見 崇之 氏
(所属：東急建設株式会社)



interview

自己紹介

ファミコンや東京ディズニーランドと同年（猪突猛進の亥年）。弊社知財部は、少数知財のため、知財業務はなんでも担当します！研究開発職として入社。知財担当になり早10年、自身が発明者の特許の中間処理を担当した経験があります。弊社には珍しく実施料収入もあることが自信に繋がっています。JIPAの委員会活動歴は7年目。第3小委員会に3年、第2小委員会に3年（うち2年は第2小委員長）を経て、2025年より委員長を仰せつかっております。

Q 研究テーマとそれらを選んだ背景・理由は？

人材育成委員会は、他の専門委員会で行うような研究テーマを持っている訳ではありません。ですので、この設問にはちょっと回答しにくいのですが…

代わりに当委員会の紹介をさせていただきます。

当委員会は、JIPA研修の企画・運営・検証・改善を通じて、委員会メンバーの成長が期待できる委員会となっています。知りたいことがあれば、自ら研修を企画し、講師探しから研修を立ち上げ、その研修を受講（検証）することができます。めっちゃお得だと思いませんか？ 少しでもご興味のある方は、是非、人材育成委員会にご参加ください。

●人材育成委員会は4つの小委員会+WGで活動しています。

- ・第1小委員会：定例研修（A～E、Wコース）の担当
- ・第2小委員会：技術者向け研修（Gコース）および特別研修（Tコース）の担当
- ・第3小委員会：臨時研修（Jコース）の担当
- ・第4小委員会：海外研修（Fコース）および海外オンライン研修（Mコース）の担当
- ・WG：JIPA研修の将来のあるべき姿等を議論・提言

技術者向け知財研修、新入社員、転入者向け知財研修を効率的に行いたい。そういう要望に応えることができるのが、JIPA研修です。法律知識・出願権利化業務だけでなく、戦略、ブランド、著作権などの知財業務にかかわる領域も担当し、実際の実務に直結する多くの研修を開催しております。

協会HPの「協会研修会について」から「研修コースの詳細」を是非、ご覧いただき、積極的に受講ください！

(https://www.jipa.or.jp/kaiin/kensyu/seminar/2025_course.html)

Q 委員会の特長／魅力は？

小委員会ごとに各社の知財メンバーが集い、具体的な研修の企画・運営をしています。

委員会活動の魅力は、皆さんが業務で活かしたい研修を、肌で感じることができることです。

具体的には、研修内容を実際に受講する検証受講や、企画段階における内容検討（講師との面談など）を通じて、研修内容をより深く理解することができます。

知財業界の最新情報・各専門知識に触れることができ、委員会メンバーの知識向上にもなります。また、講師懇談会などの講師との交流を通じて、視野の拡大・人脈形成を図ることができます。特に、各社の知財経営層、特許事務所の先生、各分野の専門家、JIPA専門委員会メンバーなど、第一線で活躍される多彩な講師陣と知り合えます。Tコースなどは受講生との交流もあり、さらに人脈を広げることもできます。

Q 委員会としてのこだわりは？

歴代の委員長の意思を引き継ぎ、委員会メンバーと委員会派遣会社にとって、「参加してよかった、派遣してよかった」と思える活動にしたいと思っています。

●委員会活動

月1回の委員会活動は、リアルで各委員会メンバーの会社に訪問させていただき、メンバーの視野の拡大、現場でのリアルな意見交換による活性化を図っています。

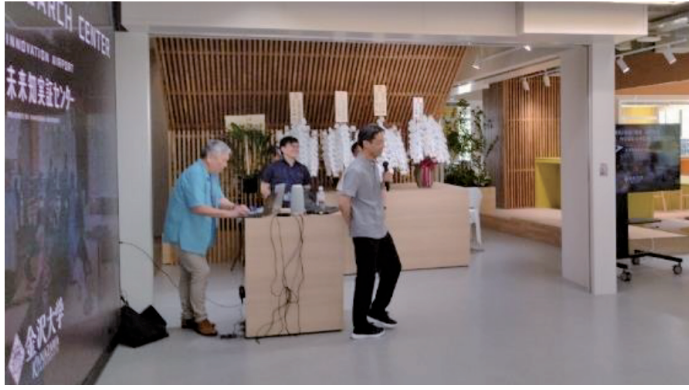
人材育成委員会は、業種業界、会社規模、知財職種などの異なるメンバーが所属しており、JIPA研修を中心としつつも、研修以外の知財業務に関する「ここだけトーク」のようなもので、さまざまな意見交換をすることが可能です。各社の悩み事や、経験談、取組みなども。ランチ会や懇談会も魅力です。

●合同委員会活動

年2回 人材育成委員会の全メンバーが集う合同委員会は、特許事務所や大学等に訪問し、意見交換などの交流を行っております。JIPAという中立的な立場で率直な意見交換を行うことができ、気づきのある活動になります。

<直近の事例>

- ・弁理士法人オング国際特許事務所
- ・九大OIP株式会社
- ・金沢大学 未来知実証センター



合同委員会写真

「メンバー同士、和気あいあいとした雰囲気、他社と交流したい方、研修を通じて知識・多くの視点を得て、視野を広げ、視座を高めたい方、人材育成委員会でお待ちしています。」